

# 国際協力について学んでいます

中学1年生の道徳では、国際協力について考える授業を行いました。初回の授業では、まずは先進国と発展途上国についての基本的な知識を学び、私たちが暮らしている日本という国も様々な国に支えられているということを知ることからスタートしました。そして、なぜ国際協力が必要なのかを理解したところで、現在行われている支援の形をグループごとに調べ、まとめました。そして次の授業では、株式会社マザーハウス



子玉川ライズ店店長の磯部様にお越しいただき、株式会社マザーハウスの理念でもあり、取り組みでもある「国際協力」についてお話ししていただきました。株式会社マザーハウスはバングラデシュに工場を作り、「途上国から世界に通用するブランドを作る」ということを目指している企業です。国連の取り組みとはまた違った企業の視点を得て、生徒は「国際協力」の視野を広げることができました。そして最後の授業では、初回に話し合った



グループのメンバーとともに、とある架空の地域を救うために何が 필요한のか話し合いを行いました。自分たちで考えた計画をみんなの前で発表することで、全員の考えを共有することもできました。

